

## 令和8年度山口大学入試問題「出題の意図」

試験種別（学部入試：一般選抜 前期日程）

科 目（化学）

※注：この出題の意図についての質問・照会は一切回答しません。

[出題の意図]

### 問題1

希薄溶液の性質のうち、凝固点降下および浸透圧に関して出題した問題である。それらの性質を正しく理解しているかどうかを確認するとともに、実験で得られるデータの見方や定量的な取り扱いについての問いを通して、活用力・応用力が身についているかを確認する。

### 問題2

酢酸は食酢として身の回りがあるだけでなく、他の様々な有機化合物を合成するための原料ともなる重要な物質である。酢酸を題材にして、化学量論の計算を正しく行えること、化学の専門用語の理解度や表現の正確さなどを総合的に問う。

### 問題3

元素の特徴と物質の性質との関係を示す無機化学の醍醐味を作題した。化学式を中心に化学物質を取り扱う上で基本から平衡反応の意味や実験の仕方まで、大学で実験する際に最低限知っておかなければならない知識を問うた。また、周期表の特徴や溶解度積の本質を問う基礎問題を出題した。

### 問題4

有機化合物の元素分析からその化合物の構造を推定する問題である。有機化合物に関する基礎的な反応を理解し、また、有機化合物の構造を明らかにする道筋を理解していること、また有機化合物の構造式を正確に書く能力を有していることを問う。

### 問題5

天然高分子化合物であるタンパク質とそれを構成しているアミノ酸の構造と性質について基礎的な知識を問う問題である。また、酵素の反応特性や反応条件についての理解度を問う問題とした。